

令和8年 5月1日

学校関係者評価委員会

令和7年度学校関係者評価委員会報告書

令和7年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1, 学校関係者評価委員会（外部関係者）

企業等委員 友愛記念病院：看護部長 南城和子氏
企業等委員 医療法人徳洲会古河総合病院：副看護部長 宮脇健氏
企業等委員 一般財団法人とちぎメディカルセンター：理事統括部長 石田龍子氏
卒業生：小倉 淑弥氏
保護者：坂入 志穂氏

2, 学校関係者評価委員会の開催状況

日程：令和8年3月27日（金） 18:30～19:30

会場：国際ティビィシィ小山看護専門学校 1階 会議室

3, 学校関係者評価委員会結果報告

別紙1の通り

以上

令和8年3月27日

学校関係者評価委員会結果報告

適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

(1) 教育理念・目標

NO	評価項目	自己評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
1-3	社会情勢や業界の変化等をふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが 学生・保護者に周知されているか	4
1-5	教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの 意見	特になし
-------------	------

(2) 学校運営

NO	評価項目	自己評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2-3	運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4
2-4	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
2-5	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
2-6	業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が 整備されているか	4
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの 意見	特になし
-------------	------

(3) 教育活動

NO	評価項目	自己評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4
3-5	関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
3-6	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	教育方法に関して、学生の主体性や自己管理能力には個人差が大きいと思うので、受動的な姿勢に留まる学生への関わり方や、早期の学業不振・生活上のつまずきを見逃さないための組織的な把握・共有の仕組みについて、さらなる強化が求められる。
---------	---

(4) 学修成果

NO	評価項目	自己評価
4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3
4-3	退学率の低減が図られているか	4
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーション活動の改善に活用されているか	3

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	退学率の低減に関して、学生の多様化を踏まえると、「入学させること」と「定着させること」が分断されている可能性があり、入口戦略と在学支援の一体的設計が求められる。
---------	--

(5) 学生支援

NO	評価項目	自己評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
5-6	学生の生活環境へ支援は行われているか	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
5-10	高校との連携によるキャリア教育職業取組が行われているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	就職に関する支援に関して、学生一人ひとりが自らの価値観に基づき進路を選択し、卒業後も成長し続けられるよう、早期からのキャリア形成と納得度の高い就職支援が求められる。
---------	--

(6) 教育環境

NO	評価項目	自己評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整されているか	4
6-2	学内外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	特になし
---------	------

(7) 学生の受入れ募集

NO	評価項目	自己評価
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確伝えられるか	3
7-3	学納金は妥当なものとしているか	3

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	特になし
---------	------

(8) 財務

NO	評価項目	自己評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているとえるか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとしているか	4
8-3	財務について会計監査が適正行われるか	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	特になし
---------	------

(9) 法令等の遵守

NO	評価項目	自己評価
9-1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
9-2	個人情報に対し、その保護のため対策がとられているか	4
9-3	自己評価の実施と問題点改善を行っているか	4
9-4	自己評価結果を公開しているか	4

委員の判断	適切
-------	----

委員からの意見	特になし
---------	------

(10) 社会貢献・地域貢献

NO	評価項目	自己評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

委員の判断	適切
-------	----

委員からの 意見	特になし
-------------	------

令和7年度 学校関係者評価委員会議事録

<日 時> 令和8年3月27日(金) 18:30～19:30

<場 所> 国際ティビシィ小山看護専門学校 会議室

<出席者> 委員5名 <委員はオンラインでの参加>

企業等委員：友愛記念病院：看護部長 南城和子氏

企業等委員：医療法人徳洲会古河総合病院：副看護部長 宮脇健氏

企業等委員：一般財団法人とちぎメディカルセンター：理事統括部長 認定看護管理者 石田龍子氏

卒業生 : 小倉 淑弥氏

保護者 : 坂入 志穂氏

事務局(学校)5名

<配布資料>令和7年度自己評価結果

議事次第

1, 校長挨拶

2, 自己評価結果の報告

①教育理念・目標 学生要覧及びR7年度基本目標と施策の振り返り

②学校運営 教職員組織図等の説明

③教育活動 教務部指導方針、目標等の振り返り

④学習成果 就職率、資格取得率、退学率等の説明

⑤学習支援 各支援体制について振り返り

⑥教育環境 研修実績、防災士資格取得の説明

⑦学生の受入れ募集 学生募集目標と施策の振り返り

⑧財務 事業活動収支計算書及び貸借対照表説明

⑨法令等の遵守 個人情報保護等対策の説明

⑩社会貢献・地域貢献 ボランティア参加実績及び文化祭、お仕事体験等イベント開催実績説明

※評価結果は自己評価結果に記載

3, 学校関係者評価

※学校関係者評価報告書に記載

4, 総評

現在定員の充足が大きな課題となっていますが、委員の皆様から頂きましたご意見を真摯に受け止め、看護師の養成校として、今後も学生の育成にあたっていきます。また、期待に応えられる学校運営を今後も目指していきます。